

令和7年度 横断的な課題シート検討結果まとめの図

資料 2

※解決策カテゴリー
[1] 講義
[2] 演習
[3] ワーク
[4] 説明の補強
[5] その他

基礎研修

基礎講義	基礎演習1日目	基礎演習2日目
[講義 1] サービス提供の基本的な考え方	[演習 1] オリエンテーション	[演習 5] 個別支援計画作成
[講義 2] サービス（支援）提供のプロセス	[演習 2] アセス 1 ニーズ聞き取り	[演習 6] 個別支援会議
[講義 3] サビ計と個別支援計画の関係	[演習 3] アセス 2 ニーズの整理	[演習 7] モニタリング
[講義 4] 利用者主体のアセスメント	[演習 4] アセス 3 エンパワメント	[演習 8] 実践までの取り組み
[講義 4] 分野別のポイント	[演習 5] 個別支援計画作成	[2][3] 今のアセスメント内容は適当 計01
[講義 5] 個別支援計画作成の手順	[3][4] 総合的な援助方針を見て、100文字要約で利用者の全体像を捉える 計06	
[講義 6] 演習ガイダンス	[5] 100文字要約に関する意見は基礎研修検討チームとして参考になった。持ち帰る 計04	

[1] 基礎は今のまま講義でICFを紹介し知識として理解してもらう | 計02|

[2] 基礎研修では本人との関わりを継続していく中で、リアルニーズに近づいていくことを実感できるよう、モニタリングの科目を工夫する | 計03|

[2][3][4] 用語集を作成 | 計07|

[2][3][4] 説明に使われている図等として共通のものを使用する | 計07|

[5] 全体のメーリングリストで、研修資料の完成版をあげ変更点などを共有する | 計08|

[2][5] 連携を示すプロセス図を共通の資料として各研修の教材に掲載する | 会01|

[2] 3 つ会議(サ担会議、個別支援会議、意思決定支援会議)を共通のものとする。基礎ノート48頁の図を共通資料にする。基礎研と実践研修では演習ノートに掲載
更新研修では説明の補強に使用し、会議名の表記が一致するようにする | 会02|

[2][4] 基礎研修と実践研修において、「個別支援会議」は開催目的に応じて内容が異なることを伝える | 会03|

OJT期間 標準2年

[4] OJTでもリーダーの姿を強調する | 計09|

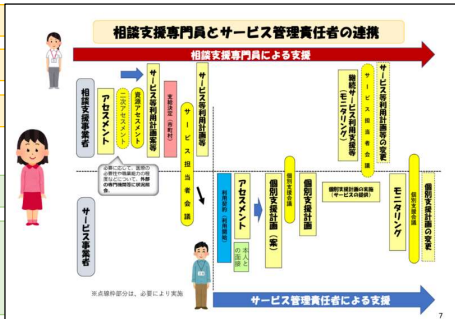
実践研修

実践講義	実践演習1日目	実践演習2日目
[講義 1] 施策の最新の動向	[演習 1] オリエンテーション	[演習 5] 個別支援会議
[講義 2] 職員への助言・指導	[演習 2] 分野別の共通点を考える	[演習 6] 職員等への助言指導
[講義 3] サ担会議におけるサビ児管の役割	[演習 3] モニタリングの方法	[演習 7] サ担会議と協議会の活用
[講義 4] 協議会を活用した地域課題解決	[演習 4] 事例検討会	[演習 8] 改めてサビ児管とは
	[演習 5] 個別支援会議	

[4] 職員にアセスメントについて伝えられるよう知識としておさらいする | 計01|

[4] ニーズの捉え方を実践研修では忘れている人がいるので、再確認の工夫をする | 計03|

[2][3][4] 実践の演習ノートに「基礎研修〇ページ参照」と振り返る仕掛けをつくる | 計07|



サビ・児発として配置

更新研修

更新講義	更新演習
[講義 1] オリエンテーション	[演習 1] サビ児管の自己検証
[講義 2] 施策の最新の動向	[演習 2] 事業所としての自己検証
[講義 3] サビ児管のSV	[演習 3] 関係機関との連携
	[演習 4] 職員等へのSV
	[演習 5] 事例検討のSV
	[演習 6] まとめ

[4] 職員への助言指導の観点から「本人中心」の理念とPDCAサイクルを確認する | 計01|

[4] 更新研修でも計画作成の要素を入れる | 計09|



[5] 更新研修では受講までに協議会の傍聴等、一歩踏み出す経験ができるとうい | 人06|

[3] 更新研修で自分のOJT体験を共有する | 人03|

横断的な課題

個別支援のプロセス（アセスメント・計画作成・モニタリング）

各種会議、連携について

人材育成（OJT）・協議会

分野の異なる受講者への対応

[5] 基礎研修受講者の所属事業所のサビ児管に相談支援支援専門員とサビ児管の違いや連携についてレクチャーを促すアプローチ | 人01|

[5] 基礎研修のお手紙(演習ノート64頁)に宛名欄として、所属事業所のサビ児管の氏名の記入欄を設ける | 人01|

[5] 協議会の位置づけがわかる資料を示す | 人04|

[1] 基礎研修では協議会を「知る」段階とし、研修の中で協議会について紹介する | 人04|

[2] 実践研の図を基礎研にも活用。今学んでいる段階と共通点が多いことを強調 | 分01|

[4] 大人も子どもも変わらないという気づきが得られるようなコラムを書く | 分01|

[5] リーダーの姿をもっと活用する | 分01|

[5] 演習8でライフステージの視点を入れる | 分01|

[5] 専門コース別研修(障害児支援)をアピール | 分01|

[5] 実践研修受講時にOJT実施者のサインをもらう | 人02|

[5] 実践までのOJTに分野別特有の内容を入れる | 分01|

[5] 実践研修申込フォームにOJT内容のチェック欄を設ける | 人02|

[2] 現行の「分野別の共通点を考える」演習に繋げる | 分02|

[3] 実践研修では、現行どおり協議会が利用者支援や自分の仕事にどうかかわっているかを調べるワークを行う | 人05|

[5] 基礎研後のOJTを担う際、分野特有の内容を意識した助言・指導ができたかのチェックを入れる | 分04|